

年頭のごあいさつ



上士幌町長

竹中 貢

新年あけましておめでとうございます。

町民みなさまにおかれましては、幸せを念じつつ初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、世界の動きは正にグローバル化の中で展開し、各地で起こっている現象が、善し悪し問わず、瞬時に飛び込んで来る時代を迎えております。

日本では現在、超加速度的な少子高齢化社会から人口減少を迎えていることは、周知の事実であります。このような中、国としては、「人口減少をくい止めなければ、国の存立自体が危うい」とする危機感から、ひと・まち・しごと創生法を整備し、人口ビジョンと総合戦略を立てたところですが、このままの出生率で推移すると、現在の人口1億2700万人が45年後の2060年には、8700万人まで減少するとし、これを総合戦略によって1億200万人を維持しようとするものです。

本町では、昨年10月に上士幌町人口ビジョンと総合戦略を策定し、現在の人口4909人を5年後には4762人、2040年には4242人、2060年に4066人の維持を目指すとしたところです。そのための総合戦略の基本目標として、「地場産業で地域の活力を生み出すまち」「子育て・教育の充実したまち」「健康で安心して暮らせるまち」「移住定住による人口減少をくい止めるまち」「小さな拠点形成を目指すまち」の5つの基本目標と、プラスワンとして、上士幌版CCRC(高齢者の地域生活コミュニティ)を掲げたところでです。

本年、本町のまちづくりは第5期総合計画の5年目を迎えますが、本計画を土台に据えつつ、時代に要請される上士幌町総合戦略の実現に向け、議会議員各位はもとより、各関係機関、団体との連携強化の中から邁進しなければならぬと、改めて意を強くしている次第です。

今、話題のふるさと納税は、すでに全国から5万件を超える応援の寄付が本町に寄せられています。応援をいただいた寄付者とは、交流など縁を深めることで地方創生策に繋げてまいりたいと考えております。

結びに、この一年町民のみなさまの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

平成28年 申年



上士幌町議会議長

杉山幸昭

町民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

平成二十八年の年頭にあたり、上士幌町議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会に対する日頃のご理解とご協力に対しましてもお礼申し上げます。

昨年は、ここ数年になく農作物の生育が良く、特に小麦は、これまでにない収穫量を記録しました。その他の畑作物も順調に生産量を伸ばすことができ、また畜産も乳量や個体販売価格の上昇によって生産額が増加しており、大変喜ばしい気持ちで新年を迎えました。

一方で、TPPが関係国間で大筋合意されました。実際に効力が発揮されるのは、まだまだ先のことでありますが、農業王国国勝にとつては、これからのような対策が講じられるか大変重要な一年になると覚悟しております。議会としまして、何とか生産者のみなさまに与える影響が最小限となるように関係機関と連携していく決意でありますので、今

迎春



後ともご支援をお願い致します。

また、うれしいニュースといえば、ふるさと納税額が昨年12月上旬の時点ですでに10億円を超え、納税件数も5万件を超えているという状況です。このような温かいご支援に感謝して、今年も今月東京・大阪で「感謝祭」を開催し、納税者のみなさまとのコミュニケーションを深め、町の物産PRや企業誘致活動等を行う準備が進行しています。議会としてもしっかりと応援したいと考えております。

今年の明るい話題としては、南米ブラジルのリオデジャネイロで夏季オリンピックが開催されます。昨年、ラグビーワールドカップで桜ジャパンが予想を覆す大活躍で、五郎丸選手など国民的ヒーローとなりました。オリンピック開催期間を通じて日本選手団の大活躍によって、ラグビー桜ジャパン同様に国民に勇氣と感動を与えてくれることを期待したいものです。

結びに、本年が町民のみなさまにとりまして、健康で実り多い良い年になりますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。